

# 長崎Bizセンター

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

甚大な被害をもたらした能登半島地震により犠牲になられた方々に心よりお悔やみ申し上げますとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

平素より、私共組合の事業活動へのご理解、ご協力を頂き、厚く御礼申し上げます。

昨年一年を振り返りますと、コロナウィルス感染症の5類感染症への引き下げ以降、経済活動の正常化も着実に進み、景況も緩やかながら、回復基調にあるものと思われています。

しかしながら、ご周知の通り、ここ数年来、深刻な状況をはらんだ国際情勢の影響は非常に大きなものとなっています。物価の高騰については、今後緩やかになってくると思われるものの、ここ数年の高騰の影響は、経営環境並びに市民生活にも大きな負担となっています。今後の情勢については、依然不透明で不安感は拭えませんが、世界的なインフレの鎮静化施策が、経済の好循環に向かう一年となることを願うところです。

当地長崎について申し上げますと、一昨年から、「百年に一度の変革」と形容されたように、大きく様変わりし、特にハード面では、長崎駅周辺の再開発がこの数年で一気に進みました。今年秋に予定されているスタジアムシティ竣工と併せて、地域の活性化と賑わいの創出、交流人口拡大に向けた取り組みや、企業誘致を核とする、人口流出に歯止めをかける施策には、大いに期待するところでもございます。

当組合に於いては、組合設立50周年という大きな節目の年を経て、新たなスタートを切った年となりました。幸いにして、正常化した経済活動の背景もあり、又、組合員の皆様方のご協力もあり、順調な事業活動を行うことができました。ただ、今後を見据えた、企業の利便性の向上や安心して事業活動が行える環境づくり等を考えると、検討すべき課題も多々あります。

このような状況の中、我々も変化に則した対応で、新たな次代へ向け、又、更なる飛躍ができる年となるよう、組合・役員一丸となって、事業強化に取り組んで参りたいと思います。

結びに、皆様方のますますのご発展とご多幸をお祈り申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。



協同組合長崎卸センター  
理事長 石丸利行